

2 社会資本と「総合的な学習の時間」の関係

社会資本には体験・体感することができる実体があり、また、その社会資本の形成過程にかかわる社会的背景や歴史性がある場合も多い。さらには、その社会資本を取り囲む地域や人々の暮らしに密着しているなど、社会資本ならではの学習課題としての特徴があります。

すなわち、社会資本は、子ども自身の体験を通じ、子ども主体の学習が可能で、横断的・総合的な課題になると考えられます。

例示された3つの課題

国際理解、環境などの
横断的・総合的な課題

児童の興味・関心
に基づく課題

地域や学校の特色
に応じた課題

学習課題としての社会資本の特徴

- 社会資本は、子供たちの身近なところにある
- 社会資本は、体験・体感できる実体がある
 - ： 見ることができる、触ることができる、音を聞くことができる
 - ： かかわった人の話を聞くことができる
 - ： 夢が備わっている
- 社会資本は、子どもが興味・関心を持つための大きな要素「美意識」をかきたてる
- 社会資本は、地域の文化・歴史、人々の暮らしと深いかかわりを持っている
- 社会資本は、技術と工夫の集合体である
- 社会資本は、学習を深めることにより、国際理解、環境などの横断的・総合的課題に発展する

図－1 例示された3つの課題と学習課題としての社会資本の特徴